静岡地区労働組合連合会ニュース　2023年1月6日発行　第401号

静岡ちくろうれん
CHIKUROUREN

静岡地区労働組合連合会
〒420-0053
静岡市葵区弥勒2丁目5の26
Tel 054-271-0951
Fax 054-271-0965
(Eメール)
sizu-tikurouren@ny.tokai.or.jp
発行責任者　松川　功

新春のご挨拶
おめでとうございます
軍事でなく、話し合いによる平和の構築をめざそう

新年あけましておめでとうございます。昨年は、2月にロシアのウクライナ侵略が始まり、世界中が不安と疑心暗鬼に覆われる1年でした。「軍事には軍事を」と対立をあおる空気に満ちあふれています。不安だから、軍事増強もやむを得ないと誰もが思ってしまう状況で今も続いています。

岸田政権が12月に「敵基地攻撃能力の保有」「米軍巡航ミサイル・トマホークの配備」など、攻撃兵器の配備を決め、5年間で43兆円の軍事費にすると閣議決定をしました。国民の平和に対する不安に乗じて、アメリカと一体となり戦争をする国づくりの道を進んでいます。この決定は憲法違反であり、国会にかけないで決めるという立憲主義の破壊行為です。日本国憲法は、前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないようにすることを決意」とし、第9条で「戦争の放棄」を明記しています。一旦戦争が始まれば、それを止めることは困難だと、ウクライナの戦争が教えています。「戦争を始めない、起こさない努力」が重要ではないでしょうか。憲法の精神は、非軍事で「話し合いによる外交」を求めています。東南アジアのASEANでは、そうした外交が行われ、武力紛争がまったくなくなりました。軍備拡大ばかりの岸田政権を早期に退陣に追い込むことが今年の大きな私たちの役割と言えます。

大学側が要求をすべて拒否、止むを得ず
東海大学非常勤講師スト決行

東海大学正門前でスト決行

東海大学静岡キャンパスで働く非常勤講師に対して、今年4月に2023年3年末で契約雇止めとするメールが届きました。理由の説明もなく一方的なやり方に対し、東海大学教職員組合を結成して交渉してきました。皆さん講師として18年17年と勤務してきた方たちです。労働契約法では継続して5年たてば無期雇用になる権利が発生するため無期雇用を要求しました。しかし、大学側は講師たちを無期転換の権利発生が10年とする研究者扱いとして10年目を迎える3月末での雇止めとしたのです。11月17日組合は東京地裁へ無期雇用の転換を認めないのは不当、雇止め撤回を求めて提訴。12月5日、9日は100分授業の40分授業を切り上げる時限ストライキを決行しました。

支援には西部地区労連など県評傘下の組合をはじめ多くの組織から参加があり30名以上で支援を行いました。スト行った講師からは、学生たちの学ぶ時間を奪うことに対する辛い思いも語られました。

応は到底容認できません。

12月2日付けで文科省が大学・研究機関の有期雇用の研究者や非常勤講師の雇止めを来年3月末で大量に行うことを出しました。学校側が講座数を72講座から27講座に減らす方針も示されており、学生の学ぶ機会を奪い、労働者の働く権利も一方的に奪う学校の対応は到底容認できません。

無期転換の大学では雇止めが通達されるなど撤回、改めて来ています。東海大学教職員組合の闘いは、全ての非正規労働者の問題です。撤回に向けて支援していきます。

年金裁判 東京高裁で結審

全国39地裁で5300名が年金引下げは許さないと裁判に訴えて、静岡でも12月8日の第3回東京高裁口頭弁論で結審となりました。

この間、第1回は原告副団長の富士の土屋さん第2回は女性の立場から静岡の高島さんが陳述、今回は最終弁論を県本部事務局長の岡村さんが年金者の生活実態と自らの思いを力強く裁判長にしました。

高裁前では宣伝行動、報告集会には年金者組合の中央役員と本村衆院議員も激励に駆けつけてくださいました。

交流で「年金者組合がなかったらこの裁判は起こせなかった」「生存権裁判との連携をより強く」「判決日は決まってないが裁判を待つのではなく、これからが頑張り時、世論喚起を」の声が口々に・・・

2月頃に判決予定です。

23春闘結成総会と旗開き

1月13日（金）
18時00分　受け付け
18時30分　結成総会
19時20分　旗開き
静岡労政会館
5階展示室
※旗開きで福引やるよ！

春闘学習会

2月12日（日）
あざれあ及びオンライン
14時30分～16時30分
「深刻化する物価高・円安と日本経済の再生」
講師：山田博文氏
（群馬大学名誉教授）
※今年度は学習協主催の学習会へ協力

組合訪問①　静岡市職員労働組合連合会
最賃より低い初任給、募集数さえ集まらないのは当然だ

静岡市労連の書記局を訪ね、書記長の切石貴之さんと話をしました。訪問直前まで職員の賃金確定の秋季年末の取り組みが行われ妥結したと話がありました。コロナ禍、台風15号災害での奮闘、物価高騰があるなか、市労連では全職員の大幅な賃上げをめざしました。結果は、20代、30代で3,000円の引き上げで、全職員の引き上げとはなりませんでした。

静岡市の高卒初任給は、今回の引き上げで153,600円となりました。静岡県の最低賃金は時給944円。1日7時間45分労働、21日勤務で153,636円です。最低賃金よりも低い初任給です。静岡市が職員募集をしても土木職などは募集数が集まらないと話がでました。この低い初任給では集まらないのは当然です。会計任用職員はさらに給料が安い状態です。

さらに、中途退職の話になりました。「市民が喜ぶ仕事をしたいのに、それができない」と中途退職するそうです。上司からそれはできないと言われたが、議員が話をもってくると、それはすぐにやれと言われるなど、やりがいをもてない職場となってきた。職場に余裕がなく、業務を機械的に行う、目の前の業務を片付けるのに汲汲としているなどの話がありました。業務のあり方、進め方など、さまざまな要因がありますが、大きな原因は職場人員の問題と考えます。正規職員を減らし、非正規の会計任用職員を増やしてきたことです。正規、非正規職員ともに、業務に真剣に取り組んでいますが、処遇が違うことで、業務の責任、意思疎通が曖昧になります。仕事はチームで行うのに人数が少なく、チームが組めない状態になっています。

短時間の訪問でしたが、率直な話ができました。また、意見交換の機会をつくります。切石書記長、書記局のみなさん、ありがとうございました。

みかん狩り

西部地区労連主催のミカン狩りに便乗して参加させていただきました。

当日は雨の予報でしたが決行、途中の「花の舞酒造」でちょっと試飲でいい気分？現地では西部地区労連の役員さんが用意してくれたおいしい豚汁を頂いている時間だけなぜか雨と風が、豚汁に雨が・・・どうなることかと思いましたが、ミカン狩りをする頃には雨も止み、袋に一杯、持ちきれないほどのミカン狩りを楽しみました。最後に簡単なゲームで交流。

ひとつ残らず袋の中へ

ミカン狩りを提供していただいた方にも感謝です。

西部地区労連では毎回楽しい交流会を計画しています静岡地区労連でも楽しい計画を検討中です。

皆さんの参加お待ちしてます。